



エリア 西宮市深谷町
カテゴリ ソファ
ブランド B&B Italia

買取価格：¥80,000-



エリア 大阪市西区
カテゴリ テーブル
ブランド domani

買取価格：¥30,000-



エリア 神戸市
カテゴリ チェア
ブランド Emeco

買取価格：¥20,000-



エリア 京都市左京区
カテゴリ ソファ
ブランド リーンロゼ

買取価格：¥30,000-



エリア 大阪府大阪市
カテゴリ テレビ台
ブランド Saltarelli Mobili

買取価格：¥20,000-



エリア 芦屋市東山町
カテゴリ チェア
ブランド Mario Colciago

買取価格：¥20,000-



エリア 芦屋市
カテゴリ 花瓶
ブランド ラリック

買取価格：¥100,000-



エリア 神戸市垂水区
カテゴリ チェスト
ブランド メーブル不二家

買取価格：¥6,000-



エリア 芦屋市
カテゴリ ソファ
ブランド DURESTA

買取価格：¥50,000-



エリア 芦屋市公光町
カテゴリ サイドボード
ブランド パーズアイメーブル

買取価格：¥40,000-



エリア 神戸市垂水区
カテゴリ テーブル
ブランド Momo Natural

買取価格：¥10,000-



エリア 神戸市東灘区
カテゴリ キッチンワゴン
ブランド その他

買取価格：¥8,000-



エリア 大阪市中央区
カテゴリ テーブル
ブランド Cassina

買取価格：¥100,000-



エリア 神戸市東灘区
カテゴリ ソファ
ブランド DREXEL

買取価格：¥50,000-



エリア 芦屋市
カテゴリ テーブル
ブランド Medea

買取価格：¥100,000-



エリア 神戸市西区
カテゴリ 本棚
ブランド 英国アンティーク

買取価格：¥20,000-



エリア 神戸市
カテゴリ ダイニングセット
ブランド PORADA

買取価格：¥140,000-



エリア 芦屋市
カテゴリ 書斎デスク
ブランド Tendo

買取価格：¥20,000-



エリア 神戸市中央区
カテゴリ 卓上ランプ
ブランド カルテル

買取価格：¥15,000-



エリア 大阪市西区
カテゴリ ソファ
ブランド TRUCK FURNITURE

買取価格：¥45,000-

Relax

p a p e r

vol. 02

家具買取リラックスは、家具を買い取り、次の持ち主へと繋いでいます。当紙面では、弊社ウェブサイトの掲載コンテンツを抜粋しまとめました。各本編が気になる方はぜひQRを読んでください。

contents

P01-P03. リラックスの家具橋渡し・旅立った家具は今こんな風に、今までのリラックスあれこれ／P04. 買取実績一例・リラックス代表岡田の最近思うこと・お問い合わせ

「元の持ち主を知ること、
より家具を大切に感じる。
綺麗に丁寧に飾ろうと思う」

前の持ち主の方のお話を聞くと、
尚更、迎えた家具に情が湧くんです。

(前略)「(購入した家具の) 前の持ち主の方のお話って、なかなか知り得ないですよね。アンティーク家具を購入したとしても、外国からやって来たものは勿論、日本のなかで譲り受けた品物でさえ、昔の持ち主のエピソードはわからないことが多い。でも、岡田さんはよく教えてくれるんですよね。その話を聞くと、尚更、迎えた家具に情が湧いてくるんです。家具ってモノで、心なんてないと思うかもしれないけど、私はある気がして……もっともっと大事にあげたい。それで、すっごく綺麗に飾ろう!と思うんです。綺麗に飾って、こんなふうにおうちに迎えていますよ、というのを、岡田さんに写真でご報告することもあって」……(後略)

※リラックスの家具橋渡し Vol.03 お客様インタビュー編より

リラックス代表 岡田陽平が、リラックスでよく家具を購入してくださる本田様にお話を伺った記事の抜粋です。

この写真は、購入なさったいろいろな家具を丁寧にインテリアされた、本田様のご自宅。



全文はこちらから

最近、分別作業を、すすんで自分一人で行うようにしています。

僕たちは色々な買取現場に向かいます。おうちのものを、すべてを買い取り、引き取りするようになることもありますが、親御さんが、遺品整理の意味も含めてご依頼をいただいたときなどです。その際、「自宅が空っぽになるような様々な物を引き取るの、処分するものやリサイクルに回すものがあり、そういうときは本当に沢山の分別作業をおこないます。

でも僕は、夜中の0時を回っても一人です。その作業を続けられるんです。なぜなら物の仕分けをするなかで、人の時間や、人生を感じることがあって、それがすく、今の僕にはじんじんとしたからです。

たとえば、手帳。こういうものも、引き取った物品のなかで、分別しなければいけません。手帳は中身が古紙、表紙は可燃物です。そして、その仕分けをする際、表紙をめくると肩たたき券が出てくるのがあります。もしくは、お子さんのお写真がある品物から察するに、厳格なお父さんだったろうな、という方の手帳からも、それから、たすの引き出し。勿論覗くつもりはないのですが、仕分けをしていると中身が見えます。みなさん、大事そうにご家族のアルバムや、お子さんのへのその緒をしまったり、人形つくりが趣味だった方の引き出しに、いっぱい素敵な材料が並んでいたり。生活保護を受けていた方の引き出しに、きつとお若いころから使っていたの、だろなという字術書が詰まっていたり。いろんな人生を感じるんです。

年齢を重ねてきた今、それらが、他人事だとは思えなくて、「こういうふうに、人は積み重ねていくんだ。こういうふうに、人生は残るんだ。それがすく、僕の胸にひびきます。

こんな大事な人生の縮図を、ざっとまとめてごみにならせないように、きっちり、きっちり、分別するようにしています。

分別と、人生の縮図。
—リラックス代表・岡田の最近思うこと。

弊社倉庫の家具をご覧いただけます。
買い取った家具を、倉庫内でメンテナンス・保管しています。事前にご連絡いただければ、倉庫内を見に来ていただくことができます。気に入ったものがあれば購入可能です。どうぞお気軽にお尋ねください。
※大型家具搬入などの作業中ですとお客様にとって危ない場合もあります。安全にご見学いただくため、スタッフが日程にお越しいただきたく存じます。事前にお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ
買取のご相談は、LINE・メール・お電話お気軽にご連絡ください！

家具リラックス伊川谷本店
〒651-2108 神戸市西区伊川谷町前開 1050-1

[TEL] 0120-67-1233
[MAIL] kobe_antique@yahoo.co.jp

旅立った家具は 今こんな風に。



【家具の新しい持ち主になった
お客様による、投稿写真集】



このシリーズの
記事はこちらから

リラックスでは買い取った家具を、倉庫や Instagram を通じて販売しています。
購入してくださる方は、素敵な家具との巡り合いをとても喜ばれる方ばかり。
なかにはご自身の SNS に、購入した家具の写真を投稿してくださる方も。
素敵なお写真やお言葉をいくつも見つけたため、抜粋して紹介いたします。

post
01



遠距離恋愛当時、
選んだダイニングテーブル。
家族が増えた今も我が家の中心に。

夫と結婚を機に、2人で選んだダイニングテーブル。当時遠距離で、家具を買いに集まり、1日中家具探しの日々。そんな私たちがようやく気に入って見つけたのがこのテーブルでした。あれから5年が経ち、家族が増え、マイホームも建ち、そのまま持ってきたダイニングテーブル。置いてみるとびっぴり！あのときこれを選んでよかったなあと改めて思いました！

post
02



梅雨で暗くなりがちな部屋。
お気に入りのランプを
点ければ、心安らぐ。

梅雨らしいお天気。暗くなりがちな部屋ですが、好きなランプを点けた部屋も好きです。ランプシェードはリラックスさんで去年買ったもの。レトロな柄がめちゃくちゃお気に入り。この照明のおかげで心が安らいで、お仕事に行く日の足取りも軽くなります。

post
03



ブティックで使われていたトランク。
自ら革張りのメンテもして、
傷の佇まいすら楽しむ。

ブティックでオブジェとして使われていた、革張りビンテージトランク！クム産ラグとすごく相性が良い。トランクは購入後、革メンテや靴磨きセットで磨いて、キズが美しい塩梅の貴様になりました。この作業がたまらなく好き！フローリング、ダークにしたくなるわ……。

post
04



“家宝”と呼びたくなるほど、
この出会いに満足。

ネイサンのサークルサイドボード。

デデンツ！家宝がやってきました。“ネイサンのサークルサイドボード”。我が家の1LDKには立派すぎるサイズだけどもう見るたびニヤニヤしちゃいます。形もちろん可愛いんだけど、取納量も想像以上！今までキャパオーバーで隅に置いていたものたを、中に入れてもまだ入る。素晴らしい……一生大切にしますよ……。

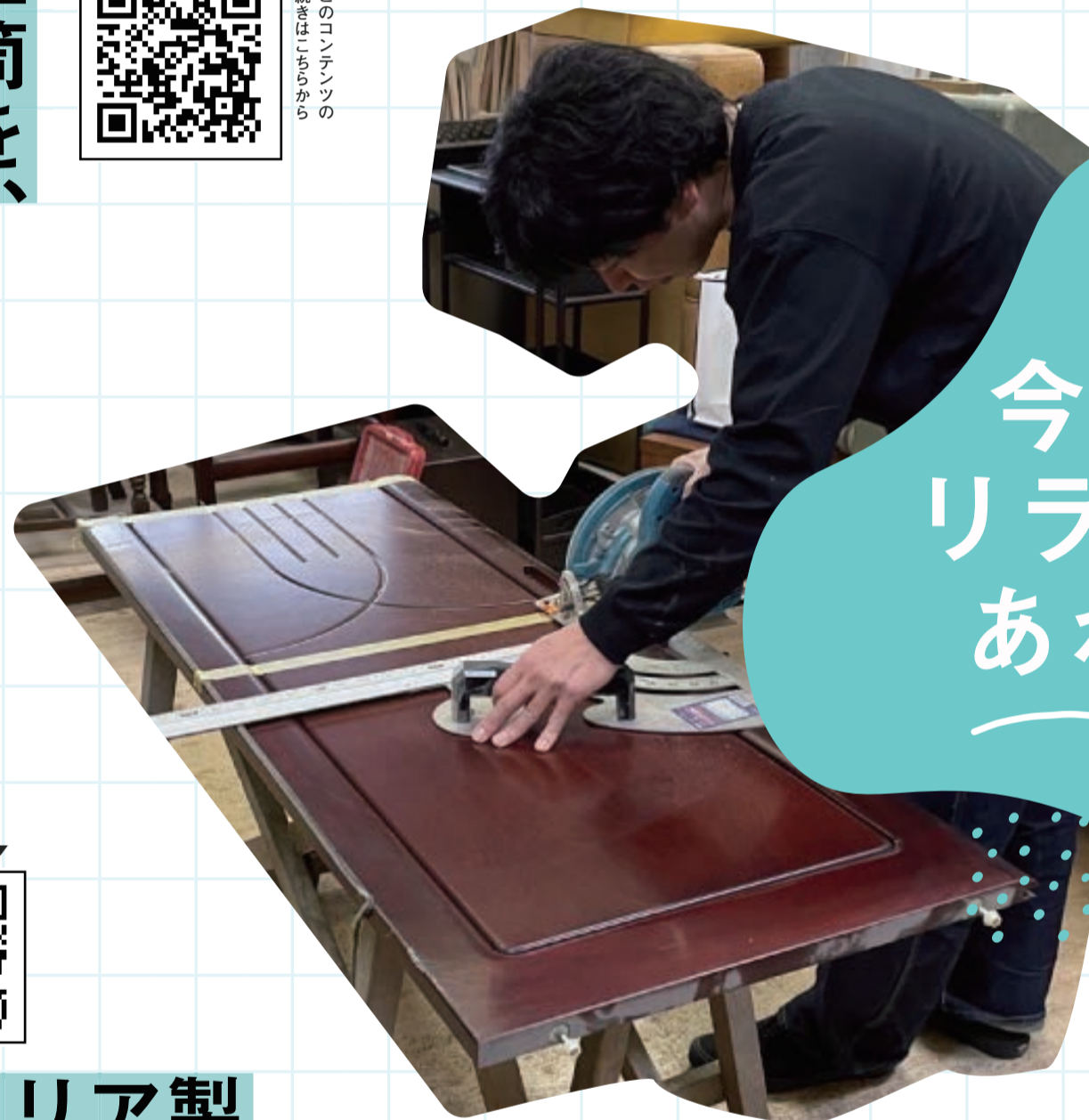
母との思い出の婚礼筆筒を、 仏壇にリメイク。

2023年1月末、リラックスに一本の電話が。
「明日引越しをしなければならんですが、どうしても、筆筒が新居に入らないんです」「買取をご希望でしょうか？」
「はい、そうなんです。でも本当は、結婚祝いにと、亡くなったお母さんと初めて2人で買い物をした思い出の筆筒で。だからずっと持ち続けていたんですけど、できなくて困っているんです」
「なるほど、引越しは明日で、新居に搬入できなくて、でも捨てるのがなくて、それで電話を下されたんですね。買取もできるかもしれませんが、何か良いアイデアがあったらいいですね」

「実は、この婚礼筆筒を小さな仏壇にしたら長く使えるのになあ……」と、どこに聞いても家具の構造上、難しいみたいなんです」
「もしよかったら、詳しく話を聞かせてもらえませんか？僕もできることを考えてみます」
こんな何気ない会話から、婚礼筆筒を仏壇に変身させるリメイクが始まりました。家具職人さんと何度も打合せをしながら、サイズやデザイン、塗装など細かく決めていきます。また、お客様のご希望で「筆筒を選ぶときに母が「前扉が素敵だからこの洋服筆筒にしよう」と言ってくれた、前扉のデザインを仏壇に取り入れたいこと」……（後略）



このコンテンツの
続きはこちらから



今までの
リラックス、
あれそれ。



このコンテンツの
続きはこちらから

イタリア製 ノックダウン式組立の特大飾り棚。 分解・搬出を半日で完了しました。

キレイな空目のバースアイメーブルでノックダウン式と言われる組立の特大サイズでした。
購入時も家具屋さんが5、6人来て1日がかりで搬入、組み立てだったというこの家具。分解・搬出が大変すぎて、他のリサイクルショップさんには断られたとおっしゃっていました。（中略）リラックスは家具専門であるため、イタリア製ノックダウンの特大キャビネットの分解作業はこれまで数百件以上の経験があります。この日も、スタッフ5名で昼までに分解搬出作業が完了しました。……（後略）



慎重に、かつ、
すばやく……

中国製家具だから無理？ とのお電話。 実はドレクセルの シノワズリでした。



このコンテンツの
続きはこちらから



遺品整理業者さんから「高そうな中国家具があるけど、すごく重たくて搬出もできないから、現地で見て欲しい。」というご依頼がありました。
現地に着いて、ひと目でこれは中国製の家具ではなく、シノワズリだと気がつきました。中国家具だから人気がないだろうと半ば諦めながら電話して下さったみたいですが、実際はヨーロッパやアメリカで流行った中国風デザインのシノワズリ家具だったのです。取っ手や丁番のデザインを見て、米国 DREXEL だと判断、背面のドレクセルマークも確認して、7万円で買い取りできますとその場でお返事いたしました。ドレクセルの家具は分解しにくく、木ネジの位置や分解の順番も分からないと完成形では搬出できないので、……（後略）



このコンテンツの
続きはこちらから

1970年の大阪万博で 使われた、希少な アームチェアとの遭遇。

～開運！なんでも鑑定団に出演いたしました～

2024年8月13日放送の「開運！なんでも鑑定団」に、スタッフの大阪が出演いたしました。同年の月に引き取ったアームチェア。大阪が気になり調べたところ、どうやら、1970年の大阪万博で使われた椅子だったらしいことが判明。当時のパビリオン、チェコスロバキア館のために建築家ヤン・シユラーメク氏によりつくられ、「オオサカイ(ワン)」という名前がついていました。「また大阪万博が開催されるし、何かの縁で今、やってきたのかなあ」と大津。しかし、家具買取屋として価格をつけようにも、同じものが市場に出回っていないため価値の相場がわからない。そこで「開運！なんでも鑑定団」の出張なんでも鑑定団に応募したのでした。担当をしてくださった鑑定士は、富山大学大学院芸術文化科学研究科教授の大熊敏之氏。
鑑定結果はなんと、200万円の価値があるとのこと。大津が調べたように当時の大阪万博で使用された物で、曲木合板という薄板の薄い板を曲げる技術が……（後略）



このあいだ、パロッサのメイトチェアをお引き取りしたんです。愛着をもって30年、ついにメイトチェアを手放す日がきた、とLINEでご連絡くださった、垂水のお客様がいて。そのご連絡をいただいたとき僕はすぐにびんときて、「あ、こちらのチェアは30年ほど前に、セブンハーツさんでご購入なさいましたね」とお返事したんです。実は家具買取をしていて、“奇遇なこと”ってすごく多い。ほんまは、奇遇とか信用してないタイプなんですけど。でも。「ドレクセルの、〇〇シリーズの、〇〇のタンス」……なんて別の例を挙げると。アメリカから輸入されたのが昭和50年8月、トラック1台分くらいのはずなのに、その家具を手放そうとお電話をくださる方々からの連絡が、1週間のうちに3回くらいかぶるんですよ。これがこの例だけのたった1回とかじゃなくて、いつもいつも、いつもいつも、そうなるんですよ。パロッサパレンティの買取も、普段はあまり機会がないけれど、一度ご連絡が入ると立て続けに3、4件は入る。その他、年に1、2件くらいしかかないようなメーカーでもなぜか、同じタイミングで同じときに、別のお客様から電話が鳴る。これ、何でなんかなーと。そうして気になってずっと考え続けて、もう少し考えがまとまったら、理屈で伝えられる気もして。今考えているのはね、こんな感じなんです。どなたかが、40年くらい前に、アメリカのどこかの……家具の展示会とかに行き、「よし！これを買付けよう」と決めたとしましょう。それで40フィート1社分、まあ多分4、50本かな、その家具を買って持ち帰るとします。するとそれが全国に散らばって、……（後略）

家具にまつわる “奇遇”な話。



このコンテンツの
続きはこちらから